

緑内障治療の革新「SLT」のご案内

緑内障の有病率は40歳以上の5%、20人に人に1人が罹患する病気で、日本人の失明原因の第1位という深刻な疾患です。初期にはほとんど自覚症状はありませんが、進行するにつれて視野障害が現れ、見づらい範囲が拡大していきます。

今回、点眼薬に頼らない、新しい治療の選択肢をご案内いたします。

眼科

健康保険適用

外来日帰り治療

レーザー治療

緑内障治療

1. 緑内障の治療って？

緑内障は完治する病気ではなく、“進行を遅らせること”が治療の目的になります。進行抑制のために明確に効果があると証明されているのは「眼圧を下げること」です。従来、点眼薬が治療の中心となってきました。しかし、毎日欠かさず点眼を続けることは、多くの方にとって大きな負担となっています。



従来の点眼薬治療の課題

- ✓ 毎日点眼することが煩わしい
- ✓ 点眼忘れによる眼圧コントロールの不安定さ(進行の要因)
- ✓ 長期間使用による副作用
(充血・かゆみ・まぶたの色素沈着など)
- ✓ 複数の点眼薬が必要な場合、
管理がさらに困難に



次世代レーザー治療「SLT」の登場

1990年代後半に開発されたSLTは、点眼薬に代わる革新的な治療法として世界的に注目されています。

レーザーを1回照射するだけで、持続的な眼圧下降効果が期待できるため、患者さんの生活の質を大きく向上させることが可能です。

日本でも2018年に健康保険が適用され、より多くの方が受けやすくなりました。

2. SLT: 選択的レーザー線維柱帯形成術

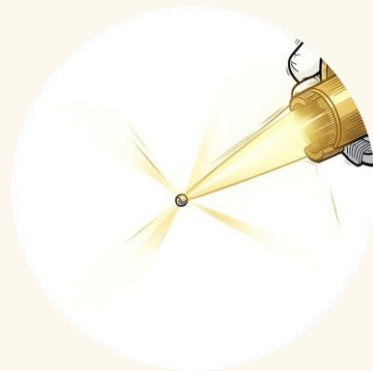
SLTは「Selective Laser Trabeculoplasty」の略で、日本語では「選択的レーザー線維柱帯形成術」と呼ばれます。目の房水(眼内を循環する液体)の排水口にあたる「線維柱帯」にレーザーを照射し、目詰まりを解消することで眼圧を下げる治療法です。

ピンポイントで
目詰まりを解消



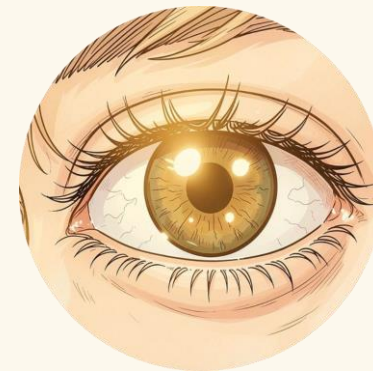
房水の排水口「線維柱帯」に直接レーザーを照射し、排水機能を改善します。房水の排出がスムーズになることで、眼圧が下がります。

超低エネルギー照射で
組織を保護



SLTの最大の特徴は、色素細胞のみを”選択的”に作用させる超低エネルギー照射です。周囲の組織を傷つけません。

繰り返し照射が
可能な安全性



従来のレーザー治療と異なり、組織へのダメージが最小限のため、必要に応じて繰り返し治療が可能です。長期的な眼圧管理に有用です。

3. SLTが選ばれる理由と期待できる効果

SLTは、その治療の簡便さと効果の高さから、多くの患者さんと医師から支持されています。
具体的なメリットをご確認ください。

1 治療時間

照射はわずか10分で完了。
仕事や日常生活への影響が最小限です。

2 眼圧降圧効果

1～2種類の点眼薬に相当する眼圧
下降効果を期待できます。

3 入院不要

外来治療のため、
入院の必要はありません。
治療当日に帰宅できます。



QOL(生活の質)の向上

SLTの大きな利点は、点眼薬の負担を軽減できることです。
毎日の点眼薬を追加することなく眼圧下降効果を得ることができます。

また、薬のようにアレルギーを心配する必要がありません。
薬のつけ忘れもなくなることで、眼圧の変動を抑え、
進行抑制につながります。



こんな方におすすめ

- ✓ 点眼薬の管理が大変な方
- ✓ 点眼薬の副作用が気になる方
- ✓ 点眼忘れが多い方
- ✓ 初期の緑内障で治療を始めたい方

4. 治療当日の流れと術後の安心



当院のSLT治療は、患者さんの負担を最小限に抑えた、スムーズなプロセスです。

1

治療前 視力検査、眼圧検査、アイオピジン点眼(眼圧上昇予防)

2

治療 点眼麻酔をしてからレーザー照射を実施、所用時間10分程度

3

治療後 アイオピジン点眼(眼圧上昇予防)、眼圧検査、診察

4

再診 SLT実施から1週間以内に再診

～術後の注意点～

- 術後数時間は視界がややぼやけることがあります
- 軽度の充血や異物感が出ることがありますが、数日で自然に治まります
- 激しい運動や入浴は翌日以降に

🔑 その後の通院は？

治療後も定期的な検診で眼圧や視野の変化を確認することが、長期的な治療成功につながります。
医師の指示に従い、定期的に受診することが大切です。

5. あなたは適応？よくあるご質問と受診のすすめ



どんなタイプの緑内障に
適応がありますか？

主に「開放隅角緑内障」の方に適した治療法です。治療歴のない方も、既に点眼治療中の方も、どの段階においても適応があります。閉塞隅角緑内障など、タイプによっては適応外の場合があります。まずは専門医による詳しい診断を。



費用はどのくらい
かかりますか？

SLTは健康保険が適用されるため、**1割負担の方は9,660円、3割負担の方は28,980円（片眼）**です。加入されている医療保険によっては日帰り手術として**給付金の対象**になります。経済的な負担にも配慮された治療法です。



点眼薬との併用は
可能ですか？

はい、可能です。
SLTは点眼薬の代わりとして、あるいは点眼薬と併用して行うこともできます。
医師と相談の上、最適な治療プランを決定します。

～視野を守るために今できること～

緑内障は早期発見・早期治療が重要です。

点眼薬の負担を減らしたい方、初期治療の選択肢を探している方は、まずはお気軽にご相談ください。
専門医があなたの目に最適な治療法をご提案いたします。

予約・お問い合わせ

まずは専門医による診断から。

つくばセントラル病院 代表 029-872-1771

上記番号より眼科外来へお気軽にご相談ください。



初診受付

紹介状や健診結果の持参がないと選定療養費がかかる場合があります。ご不明な方は左記の番号へお問い合わせください。
初診は事前予約をおすすめします。

